
彼女の本

しょうがない人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼女の本

【Nコード】

N6375D

【作者名】

しょうがない人

【あらすじ】

彼女の部屋で見つけた一冊の小説、それは男も昔読んだ小説だった。男がベッドの上でそれを読み返す。こんな話です。

女のベッドに寝転がって、枕もとの小さな本棚を見ると、男の目を引いた。

男は腹ばいになりその本に手を伸ばした。古い紙の匂いが鼻をさす。

『不自由な心』そう書かれた本を開きながら男はキッチンに立つ女の後姿にやわらかな視線を投げかけ、すぐに本へ目を移した。

男はずいぶん前に買い求め読んだ記憶があつた。背表紙が目を引きしたのはそのせいだろう。

たしか五つの短編が収録されており、どれも一人よがりな男の視点でつづられてひどく退屈だった覚えがある。

「これ、読んだの？」

声をかけるが女は相変わらず流しに向かっている。

「なあ、この本読んだの」

少し大きな声を出した。すると女は洗い物を止め振り向いた。

「ああ、『不自由な心』？ 読んだけどそれがどうかしたの」

男にはその言葉が信じられない。本棚に並んでいる他の本の種類からしても異質すぎる。

「おもしろかった？」

「別に・・・忘れちゃった」

女は気のない返事をした。

男は女の嘘を感じた。やっぱり読んでいないのだ。

「つまらなかつたらう、俺も昔読んだんだ、これ」

女はもう返事をしなかった。男もそれを何も思わず本をめくりだす。

野島・坂本・大木・三枝・江川、五つの小説の主人公たちの名が次々目に飛び込んでくる。

どれも中年のサラリーマンで、不倫や愛人との関係を軸に、生きる意味を考え込む内容だった。その主人公たちは常に厭世的で人生を悲観して沢山の女を一度に愛した。

二十四年間の人生でただ一人この女しか愛したことのない男には到底おもしろく読めるものではなかった。読み終わったとはすぐに友人にあげてしまった。

男は当時こんな小説でも共感するやつも居るんだらう、だとすればその男もこの小説のように簡単に女を捨て、それで尚孤独を癒すため女を求めるのか、そう考えた。

そんなことを思い巡らせながら男は最後のページをめくった。

あとがきの後の見開きに細かい文字で書き込みがしてある。男は少しドキリとしたが目を凝らして消えかけた書き込みを見た。

《2001.1.13 読了》

そう書かれた文字は、黒の万年筆で書かれた角のある男文字だった。日付は女と付き合う三ヶ月ほど前だ。

「ねえ、寝ちやったの？」

台所から女が声をかけてくる。

「ん……起きてるよ」

男はそういいながらベッドに腰を下ろした女の冷えた手を握った。

(後書き)

ありがとうございます。

文に出てくる本は実際の本です、作者は白石一文という人ですので好きな方や興味持ってくれた方がいたら嬉しいです。

あと、話の意味が分かりにくかったら教えてください。
読んでくださって本当にありがとうございます御座いました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6375d/>

彼女の本

2011年1月16日01時30分発行